

令和2年度第3回池田市行財政改革推進委員会 議事要旨

【と き】 令和3年3月2日（火） 午前10時00分～午前11時15分

【ところ】 池田市役所 6階 第4会議室

【出席者】

■委員：村瀬副会長、蒲生委員、川北委員、井尻委員、村上委員、牛嶋委員

■事務局：衛門総合政策部長、石田総務部長、藤井総務部次長兼人事課長、
森本総合政策部次長兼財政課長、檜垣行財政改革推進課長、
行財政改革推進課河北主幹、行財政改革推進課奥田主事

【傍聴者】 0名

【内 容】

1) 開会

＝事務局から配付資料の確認＝

2) 議事

＝令和2年度中間報告案について＝

委員：2ページの記載について、数字で表されても理解に時間がかかる上に、コロナ前後で数字の動きがより複雑になると思うので、一般市民が読んでもわかりやすいようにご説明いただきたい。4ページの働き方改革について、①②が加わってより分かりやすくなったと思う。この報告書に書くべき内容ではないかもしれないが、保健所や病院、医療関係者の方々の負担の状況について、心配でもあり知りたいと思う。「市民意識調査」の中身を見たが、調査の質問項目が国勢調査の何倍も大変な複雑さで、時間をかけて意見を一生懸命書いてくださった1,812件にとっても重みを感じた。質問項目が多いほど入る情報が多くなるのはわかるが、回答者の負担も考え調査対象を広げるなどして、もう少し取り組みやすい形にしてもいいのではないか。15ページの下水処理施設の取組は、見直しによって必要な薬剤が減り、自然環境への負荷も低くなったというのはまさにSDGsが目指すことの効果であり素晴らしいと思った。

委員：2ページについて市民がわかりやすいような記載とは例えばどういう風に。

委員：今までであれば、ここ10年間のデータをもとに良好、現状維持であるというように分析されると思うが、ここまで激変すると今までのものさしでは通用しなくなると思う。大きく数字が悪化したときに、例えば同規模の市町村の状況などから

今は日本全体が厳しい状況なのか、また池田は人口の年齢比率の傾向によりこの部分で厳しい状況なのか、ということが書かれているとわかりやすいと思う。

委員：今回は中間報告なので記載するのは難しいだろうが、コロナの影響により見込まれる市税収入の減少分について目安があればほしいということと、事業が中止になったことで逆に支出が減っている面はないのか教えていただきたい。

事務局：令和2年度以降もコロナの影響は長引くことが見込まれるので、コロナによる収入や支出の減少については、「今後の課題」のページの設置を考えた必要があると思っている。市税収入の大幅な減少について詳しい数字は存じ上げないが、最終報告時点で表したいと考えているところ。

委員：今後の報告書の中で反映していただけたらと思う。

委員：働き方改革について、①②の記載があってわかりやすいというご意見と、コロナ禍で職員に無理を強いている状況の有無についてはどうか。

委員：池田市ではテレビで報道されるようなひっ迫した状況にはないのかもしれないが、全国的に保健所の数が減っている中、保健所は大変そうなイメージがある。

委員：以前働き方改革の推進について定量的に捉える必要があると議論したが、この数字だけではあまり進んでいないように見え、この指標でいいか疑問に思った。例えば長時間労働や有給休暇などの指標や、また厚生労働省の『働き方・休み方改善指標』を参考に、施政方針や意識改善などの取組に関する指標についてレーダーチャートを使い、職員それぞれの意識などの項目を作って捉えるのもいいのではと思った。この指標だけでは職員が大変な思いをしていることも、働き方改革が進んでいることも見えないと思うので、前回より前進感はあるが指標についてもう一度検討いただきたい。

委員：②で特別休暇の取得状況を示した理由は何か。市職員の方の様子を示すことで民間にも取得を促す等の意味合いがあるのか。

委員：特別休暇は有給扱いか。

事務局：超過勤務状況や有給休暇取得状況についてはコロナ前後で比較しても大きく変わらないという現状があるが、どの指標が適切か今後検討したいと思う。特別休暇

は有給の扱いである。また1月8日からテレワーク環境が整ったので、コロナだけではなくこれからの働き方改革につなげていきたい。取得状況の公表の意図としては、公務員が率先して示すことで民間が休暇を取りやすい環境にしたいということ。職員負担については、新たな給付金事業など出てきている中でBCP（事業継続計画）を活用し、イベント等が休止になっている部署等で手が空いている職員を新規事業の方へ配置するなどしているため、疲れ切った職員は出ていない。保健所の管轄は府であるためこちらでは把握していない。

委員：①の兼業及び兼職許可というのは、具体的にどういうことに対してか。

事務局：現在不動産賃貸業を家族で経営しており名義貸しで役員になっている職員、自衛隊の予備自衛官である職員、今回居住地域で国勢調査にあっていた職員等である。過去を遡ると地域の消防団の職員に許可をしていることもある。

委員：働き方改革を推進していく中で、この数字を市として伸ばしていくのか。兼業・兼職をすると負担は増えると思うので、この数字を出すべきなのかを踏まえてご検討いただきたい。

委員：市民意識調査については、同じ方に同じ質問をする方がいいかもしれないが、問題数を絞って地域の皆で回答に協力した方が市民参加という気がする。

事務局：調査の企画の際、総合計画に加えて地域分権のアンケートを追加したため、抽出された方々には非常にご負担をかけたと思っている。想定以上に6割の方から回答ただけて大変ありがたかったが、今頂いたご意見はもっともなので、今後はなるべくボリュームを下げ多くの方に回答いただける形を考えていきたい。

委員：15ページの放流水の「次亜注入率」という言葉は一般に伝わるのか。

事務局：正式名称の次亜塩素酸ナトリウムに改める。

委員：働き方改革の件で、コロナで人員配置を変えたことなどは最終報告で書いてもいいと思う。今回は中間報告なので結構だが、最終報告ではコロナの影響や対策について、2ページの税収の減少や財政調整基金などのところに概略でも書かざるを得ないだろう。勤務時間の弾力運用というのは出勤時間を9時や9時半にするということであれば、兼業・兼職許可とは別制度なので表を分けてはどうか。

事務局：今回は中間報告なので実際出せる数字は少ないが傾向について書き、最終報告では参考資料としてグラフで市税収入などがわかる資料をつけるため、ポイントを

絞って結果報告を文章で書こうと思う。税金は当該年度に減るものと住民税のように翌年度に減るものがあり、影響範囲を継続して見ながらわかりやすく書きたい。

事務局：兼業及び兼職許可については載せるべきか、も含めて書き方を検討する。

委員：今回大きな目標は補正する必要はないのか？

事務局：例えば財政調整基金はまさにこういう状況のように、多少税金が減ったとしても踏ん張れるだけということで20億円を目標として設定している。一時期20億円を下回ったとしても、歳入歳出を合わせて残る貯金をまた20億円に戻す、という目標設定であるためそこは大きく変えない方がいいと思う。

委員：今年度は収入と支出の中身が変わってきていると思うので、このプランで説明する内容なのか検討する必要はあるが、触る必要があると思う。

事務局：どこまで詳細に説明するかは難しいところだが、コロナによって普段と違う財政状況になっていることは市民の皆さんにご理解いただく必要があるかと思うので、最終報告に向けて考えていきたい。

委員：5ページの「市の広報誌など～」という取組で、市民記者による取材は通常固定の人が密着して行うものか。これは重点取組なので、オンラインのツールを使うなど別の形でできないか。6ページの防災講座開催もコロナで中止にされているが、防災は非常に大事なテーマだと思っており、今後30年以内に起きる南海トラフ地震など考慮するとやらないといけないのではないか。見る人は限られるかもしれないが、案内の仕方によってYouTubeでの配信やQRコードを付けて見やすくするなど方法はあるので、オンライン等の横展開もぜひ検討いただきたい。18ページのふるさと納税の目標が2億円に対して9月末で56,992,969円というのは計画通りなのか下回っているのか、今後どうしていくのかお聞かせいただきたい。

委員：今回できなかった取組には「コロナの影響により」の一言ではなく、こういう検討をしたがこういう理由でできなかったと検討結果を記載いただきたい。

事務局：今年度に機器を大量に導入しZoomのライセンスを獲得して、遅ればせながらオンライン化の方向に舵を切り、例えば先日27日にSDGsフォーラムをWebで行った。200人の会場ではコロナ対策をとると半分の100人しか収容できないという制限が

あるが、今回 Web で行ったところ 200 人弱の申込があり、150 人くらいの方に参加いただけた。おっしゃるように防災など必要な取組に関しては「感染が危険だから全く実施しない」ということではなく、やり方次第では普通に会場で行うよりも多くの方に参加いただけるのが今回実績としてできたので、検討させていただきたい。また備考欄等に今後の方向性について書けるよう担当課と調整する。ふるさと納税の件は通常年末に一気に集まるためペース的には悪くはないかと思う。

事務局：昨年も同じ 9 月末時点では 2,600 万円で昨年と比較すると多いので、そんなに悪い状況ではないかと思う。

委員：12 ページの給食センター廃止後の跡地活用だが、隣の池田小学校は 50 メートルの直線コースすら取れない状況である。これは感想だが、子育てを推進する池田市であれば、教育環境が高まるように用地を整備するのがいいのではないか。この書き方では全然話が進んでいない様子なのでどうなっているのか。13 ページの図書館の指定管理者制度の検討だが、これまで何回も図書館協議会が意見を交わし「指定管理者制度はそぐわない」ということになっていると思う。何度協議会が「No」と言っても池田市で「検討」が続いていると、指定管理者がありきのような感じがして違和感がある。

事務局：旧給食センター跡地については、教育委員会を含めて活用を現在中で検討している最中である。確かに以前は 100 メートルが取れたのに、という地元の方のご意見もいただいている。耐震工事では校舎の寿命が延びず、今後必要となる池小校舎の整備スケジュールに関しても全体的な形を見たうえで進めていこうとしており、またさらにさくら幼稚園のこども園化の話も含めて、小学校と幼稚園をどう展開していくのが一番いいか、最重要課題として教育委員会で思案しているところ。時期が来たら改めてご報告できると思う。

事務局：委員おっしゃるとおり、この会議でも以前より指定管理をしていい施設、すべきでない施設があるということをご意見いただいております、我々としても「ありき」ではなく逆に「本当に指定管理していいのか？」という思いである。行革部署と図書館部署職員とでしっかり話をしたうえで進めていく。図書館の職員が減っていくタイミングで指定管理者制度を導入してはという動きがあったのは事実。しかしただ本を貸すだけではなく社会教育、生涯学習として一貫して市の方でやるべきという意見が多く、佐賀県の事例などもあるので他市事例も見ながら、任せても大丈夫な事業者があるのか、そぐわないのであれば導入しないというのをまだ判断しかねているところ。そのような意見も踏まえてきっちり考えていきたい。

委員：指定管理を進める際の検討内容としては、職員が一定程度退職するタイミングに合わせて次の人員を指定管理で対応しようということか。

事務局：市としてやるべきであれば減った職員も補充していけばよく、通常委託や指定管理者制度の導入は職員の動きを一定考えたうえで導入時期を検討していくものである。そういった議論が以前あったが、実際一気に退職する時期はもう過ぎており、一回タイミングを逃している。

委員：司書の資格を持つ方を職員として継続的に採用していれば今のような議論にはならず、指定管理ありきで人事が動いたというような誤解を生まないためにも、池田の文化をレファレンスするのに図書館は基幹施設だと思うので、教育のまち池田のプライドを持って図書館を大事にしてほしい。

委員：それは例えば特別な資格を持つ司書の人員配置についてはしっかり確保すべきだというご意見か。

委員：市の職員で司書の資格と経験を持ち、図書館を支えてきた層が薄いという印象。

事務局：司書の採用試験は平成6年度以来実施していない。指定管理のことがあったからか図書館からは正規職員の人員要求がなく、非正規である任期付職員については要求があった。そこについては今後考え方が変わってくると思うので、人員要求があれば全体の採用計画の中で検討していきたい。

委員：全体を通して、私が苦手なカタカナや英語の用語等がよく説明を書かれていた。11ページのごみ収集について、11地区のうち5地区というのはどこのことを指しているのか。

委員：委託料と業務の項目を見直が必要だと推測するが、「災害時のリスクマネジメント」というのは災害を見据えて業務を発注するのかと疑問が残ったので、書き方を工夫した方がいいと思う。

委員：現在の4地区はどこか。

事務局：市内全域を恐らくごみの搬出量や人口などをもとに11地区にしているものと思うが、詳細はこの場でお答えできないため確認しておく。リスクについては災害が

発生した際のごみ収集業務をどうやって担うのか、委託をしたときに災害時のことを想定していたのか、災害時に業者が動けるかが問題になってくると思う。削減効果については、委託料と委託によって削減できる人件費の差額で効果が出ているが、いま委託料が高騰しておりその効果が小さくなってきているということ。

事務局：委託の更新の際に委託料の予算が足りず、委託の月数を減らさないといけないのが現状。ごみや下水処理などは完全に委託してしまうと市が何もできなくなり業者の言い値になってしまうので、ごみでは半分を委託、半分は直営を残しておく。また市の直営で動けるところをキープしておかないと、災害が起きた時に完全に委託先が動けないリスクも考える必要があるということ。委託を進めるほど人件費を下げるのが難しくなり、そのバランスが非常に大事だと考えているので、表現がわかりにくい部分は改めさせていただきたく。

=その他（市政全般）について=

委員：栄本町の旧エコミュージアムのところにあったウォンバットの椅子が撤去されたのはコロナの影響か。現場に「住民の要望により」という説明書きがあったが、そこは観光地図にも載っている休憩場所なので、撤去の理由と現在の置き場所を知りたいのだが問合せ先がわからない。せっかくウォンバットがついている椅子なので、例えば動物園の周りに置くなど活用されていればいいと思う。

事務局：経緯等を調べ、次回お答え出来たらさせていただきます。

委員：池田駅前からどんどんテナントが出ていっているがどうなっていくのか。高架下もお店がなくなり、商店街に向けてもさみしく感じる。

委員：何か市の方で把握しているか。

事務局：今店舗が移動しているのは池田駅の耐震工事のためである。一時サンシティの中に入るなど場所が変わっているが、耐震工事が終わればまた戻ることもあると思う。

委員：高架下からサンシティに移っている店舗が高架下に戻れば、サンシティの方が空いてしまう。あのあたりのテナントの出入が激しい。

事務局：市では令和3年度予算において、市と駅前の団体等の関係者全部を集めたブラッ

トフォーム（会議）を作り、例えば「お店も外向けにしないか」など議論をして、前のせせらぎを含めて人が集まれるように考えるための予算をあげ、進めようとしているところ。

委員：いまは生まれ変わる過程ということで今後楽しみにしている。

=議事終了=

3) 事務連絡

事務局から今後の本部会議の予定について説明

4) 閉会

以上